

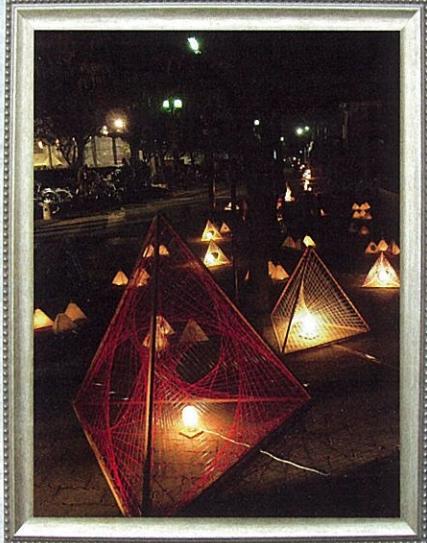
第2回

野々市なんでも百景コンテスト 最終評価(中間)

野々市町内の歴史やユニークなスポットなどを撮影し、ポータルサイトへ投稿してもうらう「第2回野々市なんでも百景コンテスト」は、9月30日(火)に作品の受付が締められました。

最終評価期間では71作品の応募があり、これまでの3回の中間評価と同様に下記紙面のとおり9作品を優秀作として選出しました。

さて、昨年12月より開催してきましたロングランコンテストへの応募作品数は総計393点。コンテストの全期間を対象とした総合優秀作品などは、次号の本紙上におきまして発表いたしますのでどうぞ期待ください。



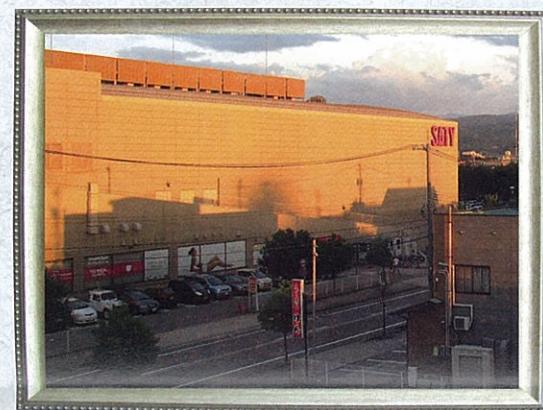
「幻想的な世界」 Nonoichi

評 じょんから祭りの夜、会場横のコミュニティ道路で企画された灯のオブジェである。住民が発案し、金沢工大の月見光路プロジェクトが協力して作り出した幻想的な空間である。2年目の新しいイベントであるが、未来に向かう誘導路であってほしい。



「勢いづく街」 宮波正行

評 役場の夜景であるが、車のライトの灯がスピード感を出し、町の活力を現している。しかし、ただの喧騒ではなく、街路樹の佇まいと、役場の塔の真上で輝く月が、街に落ち着きと品格を与えていている。狙ったシャッター・チャンスに感服される。



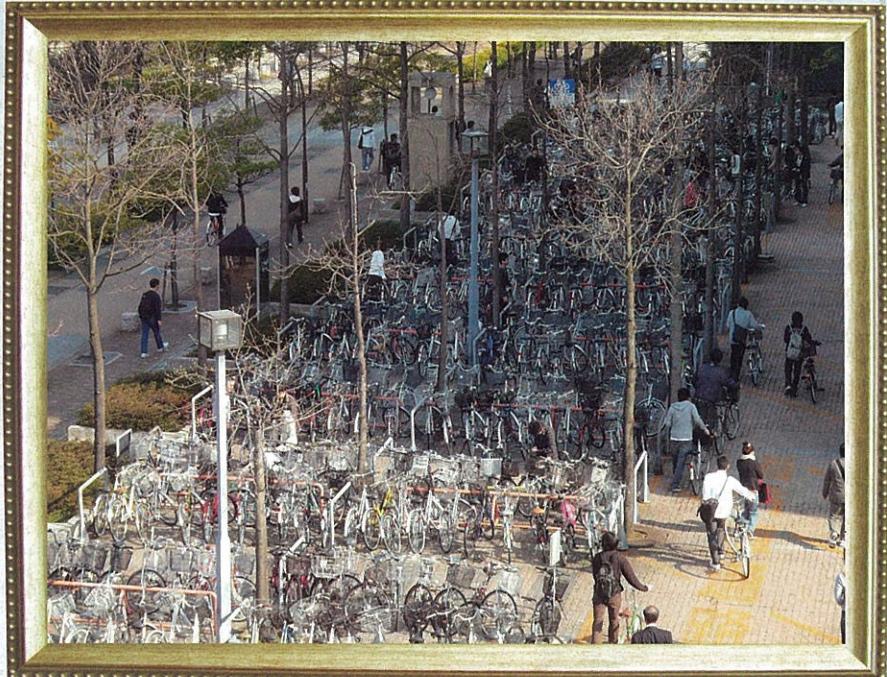
「壁の中の街」 カントク

評 大型商業施設の壁面に映し出された町並みのシルエットを見逃さなかった。レンズの視角から外れている商業地域も含めて一体の活気を捉えている。低くなった晩夏の夕陽に照らされる建物のオレンジ色が印象的である。



「赤ままのふるさとキウイ畑」 N

評 稲荷地区では、富樫物語に登場する赤飯の伝承を基に、国内発祥の地として地域おこしに取り組んでいる。赤いのぼり旗が立っているのはキウイ畑の脇である。伝統的な食と新しい特産品としての果実。脈々と流れる農業の歴史を感じさせる。

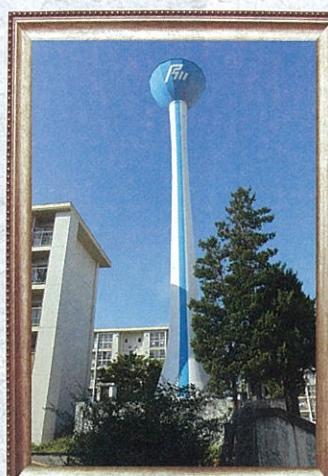


「始業の時」 太平 治

評 金沢工業大学の自転車置場である。これだけの数の自転車が整然と並ぶ風景は、野々市町はもとより石川県内でもあまり見かけないものであろう。作品タイトルの「始業の時」もいい。市制実現に向けて伸びる街の勢いを新しい風景としてとらえている。



魅力賞



「青いチューリップ」 宮波正行

評 菅原町の県営菅原団地の給水塔である。これまで、被写体として1枚も無かつたのが不思議なほどである。団地の約300世帯専用の施設で、白山のおいしい伏流水を提供している。周辺の建物などの風景を取り入れた方がよかったのではないか。



「ヤーコン畑と夏の空」 N

評 ヤーコンとは南米産の根菜類の野菜である。腸整作用や血糖値の抑制に効果があるのではないかと注目され、商品化を目指して全国的に注目を集めている。野々市町内でも栽培が始まっているのを機敏に捉えたカメラワークを賞賛したい。



「ここは清金1丁目」 宮波正行

評 なんでも百景の作品を「近江八景」に例えるなら、さしずめ「瀬田の夕照」に該当するのかもしれない。近江八景が琵琶湖に題材を求めたのに対し、野々市では手取扇状地がテーマになるのだろう。いつの日か、選定できたら、と意欲がかきたてられる。

C5 計画

[C5計画実行委員会]

町情報文化振興財團 町連合町内会 町教育委員会
(株)えふえむ・エヌ・ワン 能登印刷(株) のいちバス(株) カメリア・ハルの会

5つのメディア

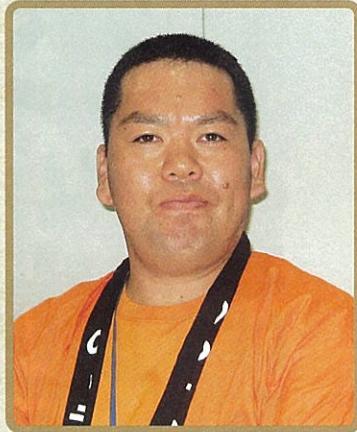
- B U S コミュニティバスのっティ
- EVENTS まちづくりイベント
- W E B のいちタウン情報局
- FREE PAPER 全戸配布の情報紙
- RADIO ラジオ番組制作・放送

詳しくは

のいちタウン情報局(<http://www.e-camellia.jp/>)をご覧いただくか、
情報交流館カメリア(076-227-6200)までお問い合わせください。

一方、新しい町民が増える中で、向こう三軒両隣に住む人が、意外な活動をしていたり、知られていない経験があつたりします。各分野で活躍する「のっ市人」を紹介します。

※この企画は、FM-NIの野々市町行政広報番組「マイタウンのいち土曜版」(土曜朝11時~正午)で放送されています。その8月から11月かけて放送したものをお面で再録しました。



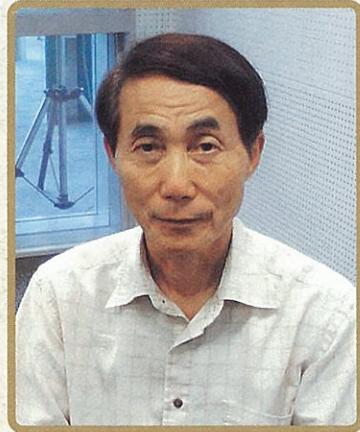
のっティ応援隊隊長
岡田 博久(おかだ・ひろひさ)さん
(白山市長竹町、32歳)

野々市町清金に隣接する白山市域に住むが、自宅近くを走るコミュニティバス「のっティ」の写真を撮り始めたことをきっかけに、広くのっティの良さを知つてもらおうと「のっティ応援隊」ホームページ開設や「のっティファンクラブ」の活動などを行っています。

<http://www.nottybas.net>

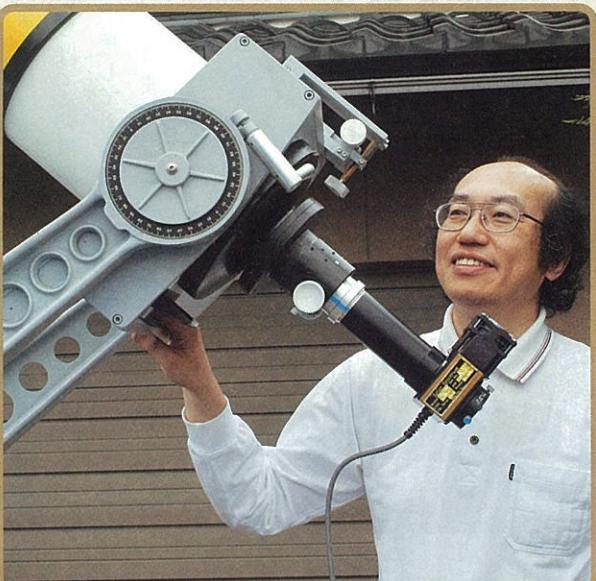
のっ市人

「市人(のっ市人)」とは、今から約500年前の中世時代、高名な修行僧が野々市町周辺を訪れた際に、詠んだ歌に記された言葉です。単独5万人市制を間近にした野々市町は、古い歴史に育まれた町でもあります。



「100円玉のパノラマバス旅行」で
グランプリ
倉 一治さん(くら かつじ)さん
(野々市町本町1丁目、65歳)

情報交流館カメラで行われている「住民映像ディレクター入門講座」を受講。講座の修了作品で野々市町のコミュニティバス「のっティ」をテーマに「100円玉のパノラマバス旅行」を企画し、講座でグランプリを受賞しました。



金沢星の会事務局長
長 兼弘(おさ・かねひろ)さん
(野々市町粟田1丁目、51歳)

博覧強記(はくらんきょうき)。博学の人を、畏敬の念をこめてこう呼びます。長兼弘さんはまさに博覧強記の方です。特に、星や天体にかけては専門家からも一目置かれています。小学校低学年の時に星や太陽に興味を持ち、自分で天体望遠鏡を作つて以来、空の観察を続けてきました。この夏には、情報交流館カメラの「放課後子ども教室」の講師に招かれ、子どもたちと一緒に手づくり天体望遠鏡を作り、大好評でした。「天体観測では細かい分析も行いますが、私の場合、見て楽しむだけなので天体観察と言っています」と長さん。生まれは京都。金沢工大を卒業して、縁あって野々市町で結婚して住み着き、本業は、編集関係の仕事をしています。

はばたけ!のっ市人

~各分野で活躍する町のあの人この人~



野々市町連合町会会長
藤 力(ふじ・つとむ)さん
(野々市町高橋町、73歳)



野々市町寿大学院実行委員長
中村 清子(なかむら・きよこ)さん
(野々市町押野5丁目)



野々市町家庭教育センター
任田 美智代(とうだ・みちよ)さん
(野々市町粟田3丁目)

平成18年から、野々市町内の保育園で子育てを応援する家庭教育センターとして、町内の保育園で活動しています。現在は自宅に託児施設のスペースを設けて、託児サービスを行っています。

放送大学 石川学習センターは野々市町5万人市制を応援しています

仕事に、生活に追われる毎日…
でも、それだけで終わりたくない。

放送大学はあなたの生涯学習を応援します

平成21年度1学期生
(4月入学生)募集

12月15日~平成21年2月28日

入学案内の資料請求(無料)・お問い合わせ先

石川学習センター

野々市町扇が丘7-1 金沢工業大学内
TEL 076-246-4029 FAX 076-246-4102
<http://www.u-air.ac.jp> asunaro-17@u-air.ac.jp

自分を磨き、輝かせたい

もっと知識を深めたい

夢を実現したい

大学卒業の資格が欲しい

放送大学

放送大学は完全2学期制の通信制大学です





大勢の人が訪れる工大祭

工大指定の寮・アパートのおばちゃん達が激励

かほく市の水辺公園では工大指定の寮やアパートの大家さん約90名が、「ゴールに向かって一歩ずつ」、「爆発させろ！」工大祭の一環として実施され、今年で34回目を迎える「100km歩行」。穴水町から工大までの100キロを約27時間かけて歩く、「自己との闘い」に、今年は94名が参加をしました。



「大丈夫?」と学生を気遣う大家さん



学生を激励する金沢工業大学付設 新葦(しんこう)の大応援団

みなみ設備工業は野々市町5万人市制を応援しています



写真提供 山下美津夫：みなみ設備工業(株)

10月11日から13日の期間、工大祭が開催されました。工大祭は地域の方々に大学に足を運んで頂き、交流を深めることが大きな目的です。

そして、その盛り上げ役には、卒業生はもちろん、工大生が生活するアパートの大家さんも関わっています。

全国約5万7千人の卒業生で構成する工大生の同窓会「こぶし会」(金沢工大学園同窓会)。そのこぶし会が工大祭と併せて開催する卒業生のお祭り「こぶし祭」は今年で8回

目を迎えました。

全国の卒業生から送られた特産品

や地元の卒業生がつくった新鮮な野菜の直売などを目

づけ、地域から多くの方々が訪れると共に、大抽選会や落語会なども実施され、大盛況のこぶし祭となりました。

を聞くなど、大家さんは温かく励ます光景が見られました。

学生からは、「朝は早くから、応援してもらつて頭がさがります」と、逆に大家さんをねぎらう

コメントも。

その後、100km歩行

参加者は、金沢市内を経て、午後4時頃に工大にゴール。

今年の完歩者は60名でした。

工大祭で地域と密着

学生を元気にさせる大学。

K.I.T.
金沢工業大学

KIT(カイ・アイ・ティ)は金沢工業大学のBrand Nameです。
文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」登録校/
文部科学省「現代的教養ニーズを総合支援プログラム」認定校/
大学基準協会「大学基準適合」認定校
〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1
TEL (076) 248-1100
<http://www.kanazawa-it.ac.jp/>

地域のみなさまの
大切なライフラインのサポートに貢献することを目指しております。
誠意と創意を尽くし、
快適で豊かな生活環境づくりに貢献したいと研鑽を重ねております。

地球のために
1. 温暖化防止
2. CO₂排出削減
3. 省エネルギー

省エネルギーの三要素

1. 使わない
2. 捨てない
3. 効率よく使う

水と空気のトータルライフをクリエイトする
みなみ設備工業株式会社

石川県知事許可(特-18)第11234号

野々市本部

〒921-8835 石川郡野々市町上林5丁目33番地
TEL (076) 248-3730 FAX (076) 248-3356
E-mail y-m@minamisetsubi.co.jp

PRINTED WITH SOY INK.
アメリカ大豆由来のインクを使用しています

